

西南学院大学 大学院

入学案内 2025

SEINAN
GAKUIN
UNIVERSITY
GRADUATE
SCHOOL



MESSAGE



学生の独自性と可能性を支援し、
時代に応じた高度な学修を提供します。

西南学院大学大学院は、法学、経営学、外国語学、文学（英文学・フランス文学）、経済学、神学、人間科学（人間科学・臨床心理学）、国際文化の7研究科9専攻からなる、総合的な人文社会科学系の大学院です。

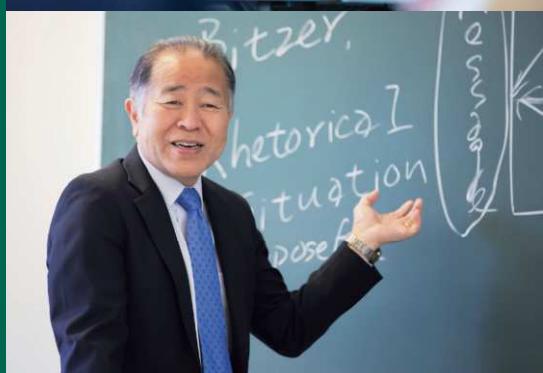
本学の建学の精神に基づいて、学術的な理論やその応用を教育することにより、大学院生が学問の専門的な知識や分析手法を修得して、社会で活躍できる高度専門的職業人になることをめざしています。

2023年度から教育課程をより時代に適合した学修内容に改め、大学院生にきめ細かく対応する体制を整備しています。コースワークとリサーチワークを適切に配置し、少人数及び双方向の授業形態を採用して、能動的な学修を促し、他者と協働しながら、独自の視点に基づく研究を遂行できるようにします。

大学院での学修は、さまざまな科目を履修した学部時代とは大きく異なります。より専門性が高く、深い学修を実現するための主体性が求められます。研究活動では、自分自身で問題意識を育んで、教員や仲間から刺激を受けながら、学会発表や論文執筆で独自の議論を生み出すことが必要となります。

大学院生一人ひとりが学修を深めていく中で、自分の可能性に気がつくようになり、その可能性を伸ばしていくよう、教員・職員ができる限りの支援をしますので、皆さん是非、西南学院大学大学院の扉を開いてください。

大学院 学務部長 東 茂樹



各研究科・専攻の概要

法学研究科

本研究科は、基礎的研究能力と高度な職業能力等を有する人材の養成を目的とする博士前期課程と、高度な研究能力を有する人材の養成を目的とする博士後期課程を設置しています。基礎法学、国内法学、国際法学、政治学、国際政治学といった分野から学生が自らの専攻を定め、担当指導教員の研究・論文指導を受けるとともに、他分野も広く受講できます。博士前期課程では少人数の密度の濃い教育に注力し、学生の関心に応えられるようにしています。

外国語学研究科（修士）

本研究科は、英語・フランス語・外国語としての日本語の卓越した運用能力の養成を共通基盤とし、組織・教育・ビジネス・メディアなどにおける人間関係の諸問題の解決を試みるコミュニケーション学、言語自体の理論的構造の理解とその実用を目的とする言語教育を研究する言語科学、英語圏・フランス語圏の文学・芸術作品の理論的側面、社会的背景を考察する文学文化の各領域において専門知識を極めつつ、学際性を備え国際社会に貢献する優れた研究者及び専門的職業人を養成します。

経済学研究科

本研究科の博士前期課程は、現実経済の研究者として自立できる基礎学力と専門知識の涵養を目的としています。理論経済学、経済政策、経済史学、統計学、金融論、国際経済、国際金融等の科目群から専門分野と隣接分野を深く修得することで、研究者のみならず公務員や教員等としても経済問題を分析できる能力を養います。博士後期課程は、研究者としての高度な能力養成を目標に、研究指導教員がより専門的な指導にあたります。

人間科学専攻研究科

本研究科人間科学専攻は、教育学・社会福祉学・心理学の3つの専門分野から構成されています。博士前期課程では、各分野における人間についての科学的アプローチや研究方法を学びます。また、「教員専修免許」の科目がそろい、教員免許取得済みの方は専修免許取得が可能です。博士後期課程では、教育や福祉、心理の諸問題に実践的・応用的に関わるためのより高度な専門知識と研究能力を涵養します。

国際文化研究科

本研究科の教育・研究の内容は、「アジア文化専修部門」と「欧米文化専修部門」の両部門にそれぞれ置かれています。思想・歴史・社会・民俗・民族・文化などをテーマとする各講座を担当する教員は経験豊富で、講義・演習はいずれも少人数で実施しています。院生は各自が専修部門において必要な専門知識と研究方法を修得するとともに、それぞれの指導教員のもとで研究テーマに関する学位論文の執筆に取り組みます。

経営学研究科

本研究科は、豊富な学際的知識を有し、経営学・経営情報学・商学・会計学の学理を求めて思索する創造力豊かな人材の育成を目的とし、多彩な教員陣を配置して特色あるカリキュラムと丁寧な演習指導を提供しています。修了後の進路としては、博士前期課程では高等学校教員や公務員の他、会計事務所やコンサルタント会社等が挙げられます。博士後期課程では、調査研究機関の研究員や大学の教員として活躍している修了生もいます。

文学研究科（修士後期）

本研究科英文学専攻は、イギリス文学、アメリカ文学、英語学、コミュニケーション学の4専修部門からなり、各分野の高度な専門知識と理論を深め、人間と社会に関する深い洞察力と英知と視野を育みます。また、フランス文学専攻は、フランス文学とフランス語学の2専修部門からなり、フランス語の歴史、思想・文化の流れを踏まえ、文学・思想・語学を深く研究します。フランス語能力を高めつつ各自のテーマ・問題意識に沿った研究を進め、豊かな感性と確かな判断力を培います。

神学研究科

神学という歴史の古い学問の「新しさ」を探求し、学ぶことが神学研究科の目的です。博士前期課程は、(1)基礎科目、(2)展開科目、(3)実習科目、(4)研究指導（修士論文作成）と、段階的に編成されています。一人の院生に複数の教員が関わり、対話を繰り返しつつ学ぶことが目指されます。そのようにして誠実な証し人として立つための土台が堅く据えられ、社会へと遣わされてゆくこと、それが本研究科の祈りであり期待です。

人間科学研究科（修士）

臨床心理学の立場から、教育・福祉・医療などの分野において、幅広い人間理解ができる視野を有し、人間関係調整力をもって柔軟に支援ができる専門家を養成します。修了すれば臨床心理士の受験資格を得られます。資格必修科目を履修し修了すれば公認心理師の受験資格も取得することができます（但し、指定科目を履修しての学部卒業が必要）。院生は付属臨床心理センターの研修相談員として地域住民を対象に臨床心理学的援助活動を行い、実践力を身に付けます。

研究能力と実践力を備えた法学・政治学の専門家を養成する。

法学研究科博士課程(前期及び後期)は、法学と政治学の広い領域にわたる通時的かつ共時的な視野に立ち、基礎法学、国内実定法学、国際関係法学及び政治学の各分野における深い学識を養います。こうした教育研究により、創造的な学術研究を担う研究能力とニーズに即した教育能力を備えた研究者を養成するとともに、今後の知識社会の基盤を担う人権感覚と批判精神に富んだ知的人材を養成します。

教員名	専門分野	教員名	専門分野
奈須 祐治	憲法、特に表現の自由論	梅崎 進哉	刑法
齊藤 芳浩	憲法(特に、憲法の法源論、憲法解釈論)	福永 俊輔	刑法、刑事訴訟法(共犯論、共謀共同正犯をめぐる手続上の問題)
勢一 智子	行政法、環境法/環境分野における学際的研究、地方自治法	佐藤 友幸	刑事訴訟法(特に、刑事証拠法)
石森 久広	行政法、税・財政法、地方自治法	有田 謙司	労働法(特に、労働契約、雇用保障法)
田中 英司	民法(財産法)、特に、不動産利用権、不動産所有権に関する法的問題	毛利 康俊	法哲学(特に社会システム論に基づいた議論)
小出 隼人	民法(財産法)、贈与(特に寄付)等の無償契約について	中野 万葉子	西洋法制史
原 謙一	民法(財産法)、特に無体の財の活用及び位置づけについて	山田 恵子	法社会学
横尾 巨	商法(商法、特に株式会社の役員についての研究)	高柴 優貴子	国際法
藤林 大地	商法(会社法、金融商品取引法)	佐古田 彰	国際法(特に国際環境法、海洋法、宇宙法)
田中 健一	商法(会社法)	小寺 智史	国際法・国際経済法
奥 博司	司法制度と社会の関係に関する基礎的考察および民事手続法の解釈論	根岸 陽太	国際法
瀬崎 錄	民事手続法(特に立証負担の軽減について)	多田 望	国際取引法、国際民事証拠共助、国際裁判管轄権、貿易金融EDI、国際原子力損害賠償
平井 佐和子	刑法	釜谷 真史	国際私法、国際民事手続法(特に外国判決の承認執行)
		鵜飼 健史	政治理論(特に民主主義、政治主体、主権)
		山本 健	外交史(戦後ヨーロッパ国際関係史、冷戦史、ヨーロッパ統合史)
		C.G.ウインクラー	政治学

※詳細な研究テーマにつきましては、大学院WEBサイトの各研究科・専攻ページにてご確認ください。

修了生の主な論文タイトル

博士前期課程

- 公権力の行使たる調査と税務行政指導の峻別論
- 民法750条と夫婦の氏の選択
—一婚氏選択の観点から「個」の平等・選択的夫婦別氏制度を考える—
- 特別縁故者への財産分与についての準拠法
- 2019年ハーグ判決条約における不動産所在地管轄

博士後期課程

- 医薬伝統的知識の国際的保護
- 患者情報の取扱いに関する権利の法制度的研究—「患者の権利」確立の一環として

主な就職先

- | | |
|----------|-----------|
| ● 税理士事務所 | ● 税理会計事務所 |
| ● 金融機関 | ● 大学教員 |
| ● 大学職員 | ● 高校教諭 |
| ● 運輸会社 | ● 新聞社 |
| | ● 電力会社 |

取得可能な資格

- 中学校教諭専修免許状(社会)
- 高等学校教諭専修免許状(公民)

在学生メッセージ

法律に関する体系的な理解と資格取得を目標にじっくり研究に取り組んでいます。

社会で税務実務を経験するなかで、税理士を目指すとともに高い専門性を身に付けたいと考え進学しました。熱心な先生方や多様な背景を持つ院生と交流することで新しい発見があり、日々刺激を受けています。また、少人数制をはじめ教育環境が充実しているのでしっかり研究に向き合い、深く思考を巡らすことができます。

法学研究科 法律学専攻 博士前期課程 松本 祐樹



社会と企業を見据えるグローバルな視野、高度な研究能力を涵養する。

経営学研究科博士課程（前期及び後期）は、グローバルな視野と高度な専門性に裏付けられた独創的な知見と倫理観を備えた研究者や高度専門職業人の育成を目的としています。経営学・経営情報学・商学・会計学の各領域において本科の伝統と特色を生かしながら、社会のニーズに応じた専門知識を教授することを通して、時代のリーダーとして大学・研究機関及び産業界の発展に寄与する人材を養成します。

経営学部門

教員名	専門分野
小野寺 香月	日本経営史、企業家研究
三井 雄一	広告論、マーケティング
藤岡 豊	国際経営論、国際経営史
齋藤 靖	組織論、管理論
工藤 秀雄	経営戦略論、イノベーション・マネジメント
平木 真朗	人事労務管理、労使関係
吉野 直人	組織の学習と失敗、責任経営

商学部門

教員名	専門分野
松田 温郎	商業と商業まちづくり政策に関する研究
藤川 昇悟	東アジア経済論、自動車産業論に関する研究
王 忠毅	東アジア地域の多国籍企業に関する研究
西田 顯生	地域銀行と地域金融システムに関する研究
高山 浩二	アメリカの金融制度およびその歴史に関する研究
小川 浩昭	経済的保障制度としての保険に関する研究
戸田 順一郎	産業論、地域経済論に関する研究

経営情報学部門

教員名	専門分野
史 一華	データベース、情報システム、電子商取引、eラーニング
鄭 義哲	企業財務論、資本市場論
王 曉華	オペレーションズ・マネジメント、サプライチェーン・マネジメント
丸山 正博	eビジネス、電子商取引、流通論、流通政策、マーケティング

会計学部門

教員名	専門分野
工藤 栄一郎	会計技術の知識化と社会化に関する研究
堀古 秀徳	財務諸表監査における職業的懐疑心に関する研究
小川 哲彦	環境管理会計と非財務情報等の情報開示に関する研究
高橋 聰	企業価値の向上に寄与する財務報告モデルに関する研究
原口 健太郎	財務諸表等を用いた経営分析に関する研究

※詳細な研究テーマにつきましては、大学院WEBサイトの各研究科・専攻ページにてご確認ください。

修了生の主な論文タイトル

博士前期課程

- 租税回避をめぐる諸相の通時的考察—租税法律主義論の分析軸として—
- 独立起業原則における通常価格概念—租税特別措置の法的属性を中心として—
- 監査上の主要な事項に係る情報価値
- 中国におけるEコマースの現状と課題—アリババとアマゾンを中心に—

博士後期課程

- 財務諸表監査が保証している財務諸表の信頼性の検討
- 企業における責任概念から貢献概念への展開—CSRの経営社会学的研究—

主な就職先

- 公認会計士事務所
- 税理士事務所
- 金融機関
- 大学教員
- 大学職員
- 高校教諭
- 國家・地方公務員
- 旅行会社
- 証券会社

取得可能な資格

- 高等学校教諭専修免許状(商業)

在学生メッセージ

日本の魅力・影響力を
さらに世界へ広げることを目標に研究しています。

学部生時代より主体的な調査・研究・分析を行いたいと考え、大学院へ進学。国際経営や流通政策などの分野を研究し、日本の企業・商品が海外に進出する際のさまざまな障壁について分析しています。将来はこの分析力を駆使し、世の中の問題に対して説得力を持った解決策を提案することで社会に貢献していきたいです。

経営学研究科 経営学専攻 博士前期課程 黒田 陽嵩



国際社会において活躍・貢献できる優れた研究者及び専門的職業人などを養成する。

グローバル化する世界の中、国際関係は複雑さを増し、同時に人々は既存の枠組みに頼った思考だけでは対処できない諸問題に直面しています。このような状況の背景にある人類の歴史文化を踏まえつつ問題意識を共有し、課題に対して多様な視点から検討を加え、創造的な解決法を見出す能力を有する人を必要としています。また、学術研究の進展や高度化に伴い、大学院生が自分自身の興味関心に従って視野を広げ、自律的に様々な分野の知識に触れる機会を増やすなければなりません。外国語学研究科は、これらの要請を念頭に、グローバルコミュニケーション学、言語科学、文学文化の3つのプログラムを設置し、アカデミックな基礎能力を身に付けたうえで、多様な分野からの刺激を受け、より柔軟な発想を持つ人を育成することを目指しています。

グローバルコミュニケーション学プログラム

教員名	専門分野
宮原 哲	コミュニケーション学(対人・医療)
清宮 徹	コミュニケーション学(組織・グループ)
初見 かおり	人類学(エスノグラフィー、平和構築論、科学コミュニケーション)
D.L.オルソン	コミュニケーション学(マスコミ・レトリック)
山元 里美	社会学(アメリカ社会論・人種とエスニシティ)

文学文化プログラム

教員名	専門分野
加藤 洋介	英語圏文学・文化(コモンウェルス文学)
リチャード・ホドソン	英語圏文学・文化(イギリス文学)、英語教育学
三宅 敦子	英語圏文学・文化(イギリス文学・文化)
宮本 敬子	英語圏文学・文化(アメリカ文学・映画・視覚芸術)
藤野 功一	英語圏文学・文化(アメリカ文学)
河原 真也	英語圏文学・文化(アイルランド文学)
一谷 智子	英語圏文学・文化(オーストラリア文学)、環境人文学
ユスチナ W. カシャ	グローバル文学・文化(日本文学・文化)、通訳・翻訳学
石田 由希	英語圏文学・文化(劇文学・上演・映画研究)
和田 光昌	フランス語圏文学・文化(小説論)
北垣 徹	社会学(フランス社会論・思想史)

*詳細な研究テーマにつきましては、大学院WEBサイトの各研究科・専攻ページにてご確認ください。

主な就職先(想定)

卓越した語学の運用能力及び各分野に関する専門的知識とスキル、国際感覚を活かせる次のような業種・職種を想定しています。

- 各国大使館
- 外資系企業
- 地方自治体(観光課・振興課など)
- 高等学校のフランス語教員

- 国際NPO・NGO
- 各種企業の国際部門・IT部門
- 中学校・高等学校の英語教員
- 日本語教員

取得可能な資格

- 中学校教諭専修免許状(英語)
- 高等学校教諭専修免許状(英語)
- 高等学校教諭専修免許状(フランス語)

在学生メッセージ



熱心で温かい先生方のもとで
日々学びを得て成長を実感しています。

教職課程で学ぶなかで、発音の指導方法を研究したいと考えるようになりました。学部生時代とは異なる分野なので不安でしたが、先生方が相談に乗ってくださり進学を決意。講義では先生方が学生の理解を確認しながら指導してくださり、意見を交換する機会が多く、学部生時代よりもさらに有意義に学習しています。

外国语学研究科 外国語学専攻 修士課程 松下 璞菜子





英文学専攻 博士後期課程

独自の視点で肉薄する英米文学や英語学等の研究者を養成する。

文学研究科英文学専攻博士後期課程では、英語を中心とする言語、文化や表象に関わる学術の理論及び応用の基礎的かつ先駆的な教授・研究を通して、高度な専門的知識・能力を身に付けた研究者や専門的職業人など、国際社会の発展に貢献できる優れた人材を養成します。

教員名	専門分野	教員名	専門分野
加藤 洋介	英語圏文学・文化(コモンウェルス文学)	C.L.ドーハティ	言語文化学(文化交流史)、英語教育学
一谷 智子	英語圏文学・文化(オーストラリア文学)、環境人文学	中西 弘	英語学(音声・聽解研究)、英語科教育学
リチャード・ホドソン	英語圏文学・文化(イギリス文学)、英語教育学	横溝 紳一郎	日本語教育学(日本語教員養成)
河原 真也	英語圏文学・文化(アイルランド文学)	山田 智久	日本語教育学(教育工学)
三宅 敦子	英語圏文学・文化(イギリス文学・文化)	宮原 哲	コミュニケーション学(対人・医療)
宮本 敬子	英語圏文学・文化(アメリカ文学・映画・視覚芸術)	D.L.オルソン	コミュニケーション学(マスコミ・レトリック)
藤野 功一	英語圏文学・文化(アメリカ文学)	清宮 徹	コミュニケーション学(組織・グループ)
谷川 晋一	英語学(統語論)	山元 里美	社会学(アメリカ社会論・人種とエスニシティ)
伊藤 彰浩	英語学(第二言語習得論・テスト理論)、英語科教育学	ユスチナ W.カシャ	グローバル文学・文化(日本文学・文化)、通訳・翻訳学

※詳細な研究テーマにつきましては、大学院WEBサイトの各研究科・専攻ページにてご確認ください。

フランス文学専攻 博士後期課程

フランス語文化の最良の部分を習得し、高度な言語運用能力を涵養する。

文学研究科フランス文学専攻博士後期課程では、フランス語の深い知識及びテクスト読解を基礎とした研究を行います。フランス語圏の社会的・文化的事象に関する専門的知識を養いながら、深い人間性の理解と国際的視野を備えた教育・研究者や高度専門職業人などの人材を養成します。

教員名	専門分野
和田 光昌	フランス語圏文学・文化(小説論)
北垣 徹	社会学(フランス社会論・思想史)
杉山 香織	フランス語学(コーパス研究)、フランス語科教育学
ジャン=リュック・アズラ	フランス語学(フランス語史)、日仏比較社会学
ティエリー・トリュベール	フランス語学(言語処理論)

※詳細な研究テーマにつきましては、大学院WEBサイトの各研究科・専攻ページにてご確認ください。

現実経済の諸問題を見渡し分析できる研究者と実務家を養成する。

国際社会のグローバル化に伴って国内社会の将来像が急速に不確実化するなか、さまざまな職業分野で経済に関する高度な専門的知識に基づく意思決定が求められています。経済学研究科博士課程（前期及び後期）は、そうした時代のニーズに応えるべく、経済理論、経済政策及び国際経済に関する幅広く深い学識を涵養することを目指し、研究職を含む高度専門職を担う優秀な人材を養成します。

教員名	専門分野	教員名	専門分野
平井 秀明	ミクロ経済学、ゲーム理論	山村 英司	経済地理、行動経済学、スポーツ経済学、経済発展論
三宅 伸治	経済成長論	志田 仁完	比較経済論、政治経済学、地域開発
崔 宗煥	経済政策、韓国経済のマクロ経済分析	立石 剛	アメリカ経済と世界経済との連関、アメリカの国際経済政策
小野 浩	近現代日本経済史、経営史	東 茂樹	アジア経済論、アジアの産業・企業研究、地域経済統合の分析
尹 春志	地域経済統合の比較研究、ヨーロッパ比較政治経済分析	河村 朗	中東産油国の経済と資源経済の分析
亀井 慶太	国際貿易、貿易政策、寡占競争の理論的分析	岩本 武和	国際経済学・国際金融論・国際マクロ経済学
深井 大幹	ミクロ経済学の金融・貨幣理論への応用	熊谷 成将	医療・健康・介護の計量経済分析、応用計量経済学
市東 亘	計算経済学、実証分析、機械学習を用いた予測分析	近藤 春生	財政学、公共経済学、公的部門と地域経済
瀧井 貞行	多国籍企業が受入国経済にもたらす影響についての分析	相模 裕一	金融市場の理論的分析
江里口 拓	イギリス経済政策思想史	丹波 靖博	ファイナンス、金融工学
花田 洋一郎	ヨーロッパ中世社会経済史、市場史	加藤 浩	産業組織の理論分析・シミュレーション分析
伊佐 勝秀	日本の社会問題及び労働問題	加藤 真理子	インドにおける人口移動と所得分配の経済分析
小出 秀雄	環境経済学、地域・大学連携、社会人基礎力育成		

※詳細な研究テーマにつきましては、大学院WEBサイトの各研究科・専攻ページにてご確認ください。

修了生の主な論文タイトル

博士前期課程

- 株価変動と株式投資家のハーディング行動
- 日中クラウドファンディングの比較研究
- 米中貿易戦争を引き起こす本質的原因
- 中国における改革開放後の人口政策の変遷と経済効果に関する研究

博士後期課程

- 不確実性下での経済分析 非期待効用理論からのアプローチ
- 公的年金制度の現状と制度改革の方向性

主な就職先

- | | |
|----------|------------|
| ● 大学教員 | ● 国家・地方公務員 |
| ● 金融機関 | ● 公認会計士事務所 |
| ● 税理士事務所 | ● 新聞社 |
| ● 調査研究機関 | ● 外食企業 |
| ● 住宅メーカー | |

取得可能な資格

- | |
|-------------------|
| ● 中学校教諭専修免許状(社会) |
| ● 高等学校教諭専修免許状(公民) |

在学生メッセージ



行き届いた教育と環境を活かしながら
さらに研鑽を重ね、将来は研究者へ。

学部生時代に財政に関心を持ち、さらに深く研究したいと考え、
大学院へ。現在は日本の財政問題、特に財政の持続可能性への対
策や展望について学んでいます。先生方の手厚いご指導や一対一
の授業、自習室やPC教室等が整った環境のおかげで研究に集中
することができています。修了後は後期課程に挑戦する予定です。

経済学研究科 経済学専攻 博士前期課程 山田 駿起



「真理の同労者」を目指す人格的な関わりのなかで共に真理を探究する。

神学研究科博士課程（前期及び後期）は、聖書及びキリスト教思想・哲学を中心とする文献の研究を通じて、広い教養、高い倫理性及び総合的な判断力を身に付け、現代における人間の心、宗教及び社会の諸問題に柔軟に対応する優れた研究者並びに社会において中核的な役割を担う人を養成します。

教員名	専門分野
日原 広志	旧約聖書学(預言者の研究)
須藤 伊知郎	新約聖書学(マタイ福音書の研究)
G.ロドリゲス プラセンシア	宗教社会学
金丸 英子	バプテスト史(教会史を含む)
黄 南徳	組織神学、倫理学
濱野 道雄	組織神学(キリスト教倫理学)、実践神学、教会形成論
才藤 千津子	実践神学(パストラルケア・カウンセリング)

※詳細な研究テーマにつきましては、大学院WEBサイトの各研究科・専攻ページにてご確認ください。

修了生の主な論文タイトル

博士前期課程

- J.モルトマンの神学における「希望」の根拠
- 現代日本のバプテスト教会と礼拝
その美学を探る
- 信仰者の教会
一バプテストの教会観に見られる信仰者理解の特徴ー
遺伝子工学におけるキリスト教倫理
ー最初のアダムから最後のアダムへ ゲノミクスは神の創造の御手かー

博士後期課程

- 第一イザヤにおける聖・義・知恵

主な就職先

- | | |
|--------|---------|
| ● 牧師 | ● 伝道師 |
| ● 高校教諭 | ● 中学校教諭 |

取得可能な資格

- 中学校教諭専修免許状(宗教)
- 高等学校教諭専修免許状(宗教)

チャペル

西南学院の建学の精神を具現化する場として

チャペルがあります。

祈りの場、人生を考える場です。

毎週火・水・木曜の10時35分から11時までは、
チャペルアワー(礼拝形式)を開催しています。



在学生メッセージ

現代における教会の存在意義を問い合わせ続け、
世界平和に貢献する牧師へ。

学部時代の論文を発展させて独自性の高い論文を完成させたいと思い、大学院に挑戦。キリスト教の「信仰」に焦点を当て、現代プロテstantにおける教会分裂について研究しています。個人自習スペース、図書館、PC室などの設備を活用しながら研究を深め、牧師になる準備を進めています。

神学研究科 神学専攻 博士前期課程 吉田 審溢



教育・保育、福祉、心理の課題に挑む高度専門職業人と研究者を養成する。

人間科学研究科人間科学専攻博士課程(前期及び後期)は、現代社会の人間に関わる諸課題に取り組むことのできる高度な専門的知識及び研究能力を教授し、教育・保育、社会福祉等の分野で、総合的判断力を要する高度専門職業人、先進的かつ総合的な課題に取り組む研究者などの人材を養成します。

教育学

教員名	専門分野
山本 孝司	教育哲学
田代 裕一	教育方法学
田中 理絵	教育社会学
雪丸 武彦	教育行政学
門田 理世	乳幼児教育学
渡邊 均	音楽教育学・声楽
川上 具美	地歴科教育、社会科教育
藤永 豪	地理学
塙野 正明	物理学
山根 明弘	動物生態学
黒木 重雄	絵画表現

心理学

教員名	専門分野
松尾 剛	教育心理学、教授・学習心理学
中村 奈良江	認知心理学
安藤 花恵	認知心理学
井上 久美子	臨床心理学、発達臨床心理学
花田 利郎	臨床心理学
柳澤 さおり	社会心理学、産業・組織心理学
田原 直美	社会心理学、産業・組織心理学
分部 利紘	消費者行動心理学、認知心理学
小川 邦治	臨床心理学、産業臨床心理学

社会福祉学

教員名	専門分野
倉田 康路	社会福祉原理、高齢者福祉
山本 佳代子	子ども家庭福祉
倉光 晃子	障害者福祉
萩沢 友一	地域福祉
河谷 はるみ	社会保障論
山崎 先也	保健体育、運動疫学、環境生理学
田中 康雄	福祉人材・組織マネジメント

※詳細な研究テーマにつきましては、大学院WEBサイトの各研究科・専攻ページにてご確認ください。

修了生の主な論文タイトル

博士前期課程

- 幼児の母親に対する認知と分与行動との関連について
—物語の主人公への共感のタイプと関わりから—
- 授業における「こだわる子ども」とその指導
- 社会福祉協議会の存在意義と専門性に関する研究
—「地域共生社会」の実現に向けて—
- 地域高齢者の well-being に関する要因—2地区でのアンケート調査の比較より—

博士後期課程

- 「ひきこもり」からの回復プロセスに関する研究
- 表出困難人の意思の尊重における「推察」の研究
—家族介護者と施設職員へのインタビューから—

主な就職先

- 大学教員(教授・准教授・講師・助教・非常勤講師など教員/研究職)
- 小学校教諭
- 幼稚園教諭
- 地方公務員

取得可能な資格

- 幼稚園教諭専修免許状
- 小学校教諭専修免許状
- 高等学校教諭専修免許状(福祉)

在学生メッセージ



ブランクがあっても安心して学べる
行き届いた環境と指導に感謝しています。

保育現場を20年間見てきたからこそ、大学院で学べることがあるのではないかと考えて進学を決めました。久しぶりの学びの場ですが、基本から指導してくださるのでありがとうございます。また、似た分野への関心がある仲間、異なる分野を研究する仲間と議論するなかでさまざまな新しい発見があり、多くの学びを得ています。

人間科学研究科 人間科学専攻 博士前期課程 仁後 真理子



心理的諸問題に対して心理臨床の場で挑戦する高度専門職業人を養成する。

人間科学研究科臨床心理学専攻修士課程は、複雑な現代社会において臨床心理学の立場から、教育、福祉、医療などの分野において幅広い人間理解ができる視野を有し、かつ人間関係調整力をもって柔軟な支援を提供できる卓越した専門家を養成します。

教員名	専門分野
花田 利郎	臨床心理学、臨床心理査定
浦田 英範	臨床心理学、精神分析学、被害者支援学、臨床心理査定学
押江 隆	臨床心理学
井上 久美子	臨床心理学、発達臨床心理学
小川 邦治	臨床心理学、産業臨床心理学

教員名	専門分野
安藤 花恵	認知心理学
中村 奈良江	認知心理学
柳澤 さおり	社会心理学、産業・組織心理学
鹿島 なつめ	臨床心理学、発達心理学

※詳細な研究テーマにつきましては、大学院WEBサイトの各研究科・専攻ページにてご確認ください。

修了生の主な論文タイトル

修士課程

- 大学生への居場所づくり支援に関する研究
—居場所による不登校の予防—
- 青年期における過剰適応と性格特性の関連について
—バウムテストに着目して—
- 情緒的サポートが育児感情及び養育行動に与える影響
- 過酷な養育環境の中で育った人の自立のプロセスについて
- 大学生の援助要請スキルと援助評価が援助要請における利益の予期に与える影響の検討
- 大学生の就職活動が及ぼす心理的な影響について

主な就職先

- クリニック（精神科、小児科等）
- 児童養護施設
- 地方公共団体（公務員：心理職）
- 地方公共団体の教育委員会
(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等のスクールカウンセラー)

取得可能な資格

- 臨床心理士【受験資格】
日本臨床心理士資格認定協会認定資格
要件：修了
- 公認心理師【受験資格】
国家資格
要件：所定の資格必修科目を履修して修了
(但し、指定科目を履修しての学部卒業が必要)



付属臨床心理センター

臨床心理実習(必修)の学内実習を行う施設です。子どもから大人まで、様々な悩みを抱える地域住民から相談があります。大学院生は研修相談員として、教員及び相談員の監督、指導の下で、実習(相談活動)を行います。

在学生メッセージ



公認心理師の資格取得を目指して
より深い領域を興味深く学んでいます。

学部での学びをより深く掘り下げ、資格取得を目指したいと思い、進学を決意しました。専任教員に加えて、現場経験の豊富な非常勤講師から学べる点や、基礎から実践まで幅広く深く学べる点が本学大学院の魅力だと思います。将来は、スクールカウンセラーとして教育現場で子どもたちの支援に携わりたいと考えています。

人間科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程 川添 亮汰



国際文化のエキスパートとして活躍するための専門知識と実践能力を涵養する。

国際文化研究科博士課程(前期及び後期)では、人類がこれまで創造してきた伝統的な文化を地域文化及び比較文化の視点からとらえ、地域及び文化に関する高度な専門的知識と国際的視野を獲得することで、国際社会に貢献でき、基礎的かつ先駆的な学術研究を推進する優れた研究者や高度専門職業人を育成します。

アジア文化専修部門

教員名	専門分野
西村 将洋	日本近現代文学
尹 芝恵	日韓文化交流史
片山 隆裕	文化人類学
韓 景旭	文化人類学
伊藤 慎二	考古学
宮崎 克則	日本近世史
金縄 初美	中国民族学
新谷 秀明	中国近現代文学
梅村 卓	中国近現代史・メディア史

欧米文化専修部門

教員名	専門分野
今井 尚生	西欧近現代思想
藤田 公二郎	フランス現代哲学
大坪 哲也	アメリカ宗教・文化
押尾 高志	近世西地中海史
山田 順	キリスト教考古学
二藤 拓人	ドイツ文学・メディア文化
西脇 純	キリスト教典礼学
柿木 伸之	哲学・美学
松原 知生	西洋美術史
栗原 詩子	音楽学・映画学
柳澤 史明	芸術学・美術史
朝立 康太郎	アメリカ史
大原 関一浩	アメリカ社会・文化
伊東 未来	文化人類学
宮平 望	アメリカ思想・文化

※詳細な研究テーマにつきましては、大学院WEBサイトの各研究科・専攻ページにてご確認ください。

修了生の主な論文タイトル

博士前期課程

- 近世日本社会における洋酒瓶の受容について
国内近世遺跡出土のワインボトルとコン普ラ瓶の考古学的比較研究をとおして
- ハワイ楽園論に関する一試論
- ファン・ゴッホ芸術における「日本的なもの」をめぐって
—『ファン・ゴッホ書簡全集』とピエール・ロチの『お菊さん』のテクストを中心に—
- 『老子』における万物生成論について

博士後期課程

- 古代寺院伽藍配置の意義
—觀世音寺式・法起寺式伽藍配置をとる寺院とその展開—
- 中国の「計画生育政策」についての研究
—“80後”世代の婚姻問題を中心として—

主な就職先

- | | |
|--------|------------|
| ● 大学教員 | ● 大学職員 |
| ● 高校教諭 | ● 国家・地方公務員 |
| ● 博物館 | ● 歴史資料館 |
| ● 金融機関 | ● 製薬会社 |
| | ● 総合小売業 |

取得可能な資格

- 中学校教諭専修免許状(社会)
- 高等学校教諭専修免許状(地理歴史・公民)

在学生メッセージ

親身な先生方と志の高い仲間とともに
充実した研究生活を送っています。

学部生時代にゼミの指導教員であった尹先生のもとで研究を行いたいという思いから進学を決意。現在は、朝鮮通信使について歴史的背景や当時の実態を調べながら研究しています。少人数制で先生方と距離が近いうえに仲間からも刺激を受け、吸収することがたくさん！学芸員課程も履修し、充実した日々を過ごしています。

国際文化研究科 国際文化専攻 博士前期課程 前田 桃花



学費

入学金*	授業料	施設費	合計
135,000円 ※西南学院大学出身者は免除	576,000円	130,000円	841,000円

(前年度実績)

奨学金制度

学業成績または経済的な諸事情により修学が困難な大学院生を対象として、一定の金額を給付することによって修学を支援し、研究に専念できるように、各種奨学金制度を設けています。大学院特別奨学生奨学金ならびに大学院給付奨学金などの本学独自の奨学金をはじめ、日本学生支援機構・民間団体など種々の奨学金制度があり、それぞれの制度によって募集時期・金額・出願資格・採用人数や返還方法などが異なります。詳細は、大学院課大学院事務室までご確認ください。

学内奨学金制度

西南学院大学大学院 特別奨学生奨学金

大学院博士前期課程又は修士課程の一般入学試験（秋期及び春期）において優秀な成績で合格した方の中から選考によって若干名を特別奨学生として採用しています。入学初年度に限り授業料相当額（入学金・施設費を除く）を奨学金として給付します。

西南学院大学大学院 給付奨学金

学業成績、研究活動等の学生生活において特に優れた成果をもなながら、経済的理由により学資の支弁が困難な者に対し、学資を給付して学業を奨励することを目的として西南学院大学大学院給付奨学金制度を準備しています。なお、奨学金の給付額は、当該年度の授業料相当額（施設費を除く）の半額です。

学外奨学金制度

独立行政法人 日本学生支援機構奨学金

大学院生は、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金に申し込むことができます。

●第一種奨学金（無利子貸与）

【修士・博士前期課程】
貸与月額：50,000円又は88,000円

【博士後期課程】
貸与月額：80,000円又は122,000円

●第二種奨学金（有利子貸与）

貸与月額：50,000円、80,000円、100,000円、
130,000円、150,000円から
希望により選択

その他の奨学支援制度

国の教育ローン (日本政策金融公庫)

教育に関する家庭の経済的負担の軽減と教育の機会均等を図るため必要な資金を融資する公的な制度として日本政策金融公庫による「国の教育ローン」（教育貸付）があります。詳しくは、最寄りの日本政策金融公庫各支店またはテレホンサービスにお問い合わせください。



奨学金を受給した場合の学費シミュレーション（入学金は含まず）

パターン1

「西南学院大学大学院
特別奨学生奨学金」の場合

授業料	+	施設費	=	年間納入額合計
576,000円	+	130,000円	=	576,000円

※西南学院大学大学院特別奨学生奨学金は入学年度のみ支給

パターン2

「西南学院大学大学院
給付奨学金」の場合

授業料	+	施設費	=	年間納入額合計
576,000円	+	130,000円	=	288,000円

施設紹介

西南学院大学大学院では、集中して学べる環境はもちろん、専門的な学びを究めるための施設が整っています。

《大学院棟施設》



《その他の主な学内施設》



大学院棟の利用可能時間

《月～土／祝祭日》8:30～23:00
《日曜日》13:00～20:00

※お盆期間、年末年始については閉館しております。



各種制度

▶ 長期履修学生制度

博士前期課程への志願者の中で、職業を有している方、介護、育児、出産等の諸事情を有する方など一般・社会人・外国人等を問わず諸事情を抱えている方を対象としています。長期履修学生として入学を認められた場合に、長期履修学生（修業年限3年間）としての在籍が可能なシステムを導入しております。（臨床心理学専攻を除く）



社会の方でも安心して
受講することができる昼夜開講の研究科

臨床心理学専攻を除く7研究科8専攻で昼夜開講制度を取り入れています。社会の方でも、夜間時間帯及び土曜日に受講することができるカリキュラムが組まれます。

よくあるご質問

**Q 入学試験は
年に何回ありますか？**

年に2回（秋期【8月下旬～9月上旬】・春期【2月】）実施しています。

秋期は博士前期・修士課程のみ、春期は博士前期・修士課程及び博士後期課程の入試を実施しています。秋期・春期のいずれにおいても、一般、外国人等、社会人入試を行います。

詳細は、本学大学院HPの入試情報及び学生募集要項、また本パンフレットの裏表紙をご覧ください。



**Q 過去問題を閲覧することは
できますか？**

過去問題は過去3年分、本学大学院棟内での閲覧のみ可能です。

詳細は、本学大学院HPの入試情報をご覧ください。

**Q 所属する研究科・専攻以外の
他の研究科の授業を
受講できますか？**

自分の所属する研究科以外の授業科目を受講することができます。（一部の科目を除く）

その際は、指導教員及び当該授業科目担当教員の許可を得て履修することができ、そのうち8単位以内に限り修了要件単位に含めることができます。

NEWS

大学院ホームページに
チャットボットを導入しました。

入試に関してよく寄せられる質問に自動でお答えいたします。
どうぞご利用ください。

《使い方》

- ①画面右下【チャットボットに質問】(黒いアイコン)をクリック
- ②【文章で質問を入力してください】の欄に質問を入力



2025年度 大学院入学試験日程

さらに詳しい
情報はコチラ



◆秋期【博士前期課程・修士課程】法学／経営学／外国語学／経済学／神学／人間科学／国際文化研究科

	願書受付期間	試験日
一般	2024年7月1日(月)～7月12日(金)	2024年 8月31日(土)
社会人		
外国人等(国内居住者)		

◆春期【博士前期課程・修士課程】法学／経営学／外国語学／経済学／神学／人間科学／国際文化研究科

	願書受付期間	試験日
一般	2025年1月6日(月)～1月16日(木) (外国語学研究科／国際文化研究科の飛び級受付を含む)	2025年 2月22日(土)
社会人		
外国人等(国内居住者)		
外国人等(国外居住者)	2024年10月1日(火)～11月5日(火)	

◎飛び級願書受付期間(法学／経営学／経済学／神学研究科)：2025年1月27日(月)～2月3日(月)

※一般・外国人等(国内居住者)及び社会人入学試験は、秋期・春期の2回実施され、年2回受験の機会があります。(ただし、入学は4月のみです。)

※臨床心理学専攻は、外国人等入学試験を実施しておりません。

◆春期【博士後期課程】法学／経営学／文学／経済学／神学／人間科学／国際文化研究科

	願書受付期間	試験日
一般	2025年1月6日(月)～1月16日(木)	2025年 2月21日(金)
社会人		
外国人等(国内居住者)		
外国人等(国外居住者)	2024年10月1日(火)～11月5日(火)	

大学院イベントのお知らせ

◆大学院進学相談会

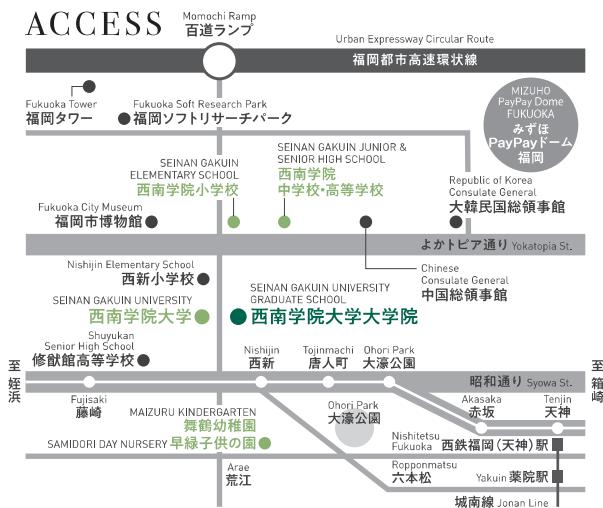
【2024年6月22日(土)13:00～16:30】

◆大学院オープンキャンパス

【2024年11月30日(土)13:00～16:30】

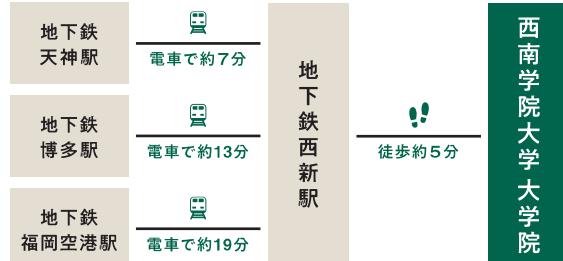
内 容 進学相談、在学生による相談、過去問題閲覧、施設見学など

予約制 申込方法等は、大学院HPにてお知らせします。(イベント実施約1ヶ月前)



(財)大学基準協会の認証評価結果について

西南学院大学は2009年度に実施した自己点検・評価活動にもとづき、2010年度に財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を申請し、「大学基準に適合している」との認定を受けました。今回の申請による認定期間は、2018年4月1日から2025年3月末までの7年間です。



西南学院大学大学院

西南学院大学 教育支援部 大学院課 大学院事務室
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92

TEL 092-823-3368 FAX 092-823-3348

E-mail gra-jimu@seinan-gu.ac.jp

HP https://www.seinan-gu.ac.jp/gra.html

